

# 荒木光典 先生 講演会

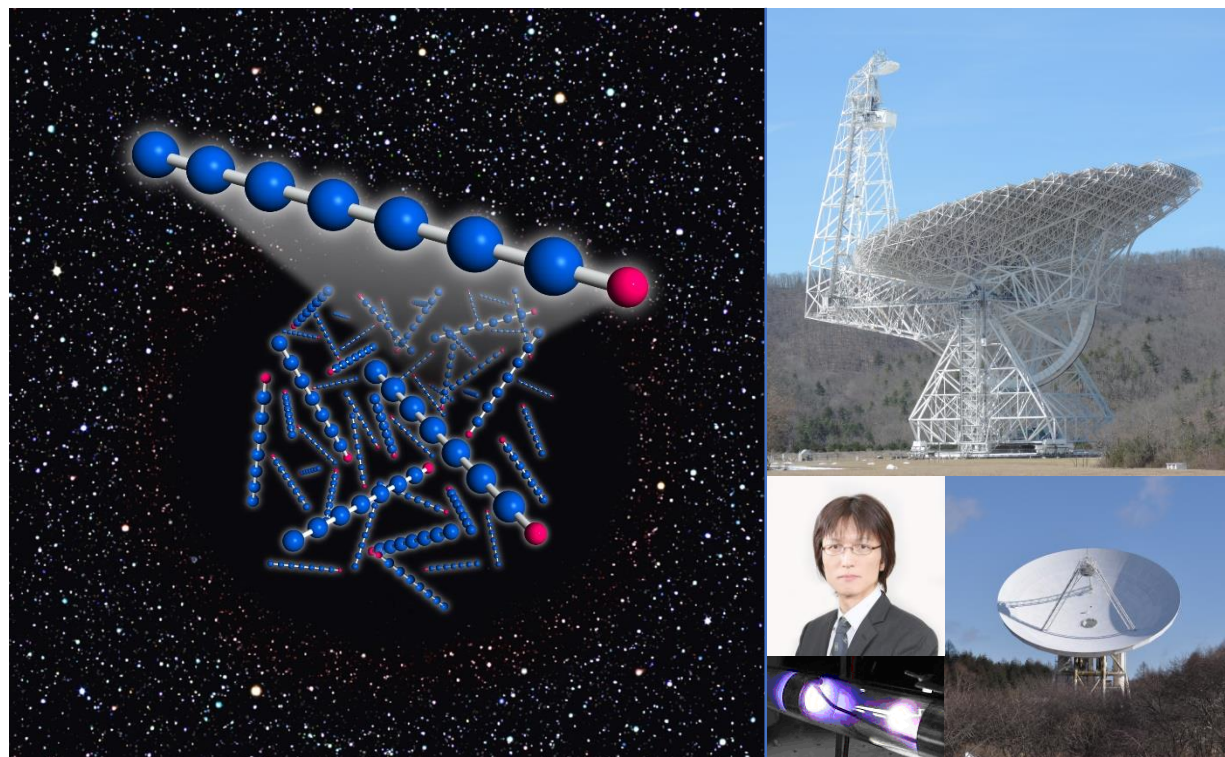
(東京理科大学 総合研究院)

9月27日(金) 16:05-16:50 共L201(聴講自由)

## 宇宙図を書き換えた星間分子の発見



— ついにペール脱いだ大型星間分子 —



星間分子は 1970年代から年間数個のペースで発見され続け、現在では 200 種程度が知られるに至った。これは単なる数の増加に収まらず、フラレーンなど、全く新しい分子類の発見をもたらしている。特にスイスのチームによってなされたフラレーンイオンの発見は宇宙図を書き換えるほどのインパクトを持っている。一方、東京理科大学を中心とする日本のチームは最大級の直線炭素鎖分子  $\text{CCCCCCH}$  を分子雲で初めてとらえることができた。本講演では、これら最近の発見とその傾向を紹介し、今後の展開を予想する。

問合せ先 理学部化学科 岡林利明 (内4768)

[okbayashi.toshiaki@shizuoka.ac.jp](mailto:okbayashi.toshiaki@shizuoka.ac.jp)